

工學會誌第九十九卷

○演說

印度鐵道ノ話

工學士 小山友直君

私ハ今夜印度ノ鐵道ニ就テ少々御話シ致シマスガ御承知ノ通り印度ハ世界デノ古邦大國デアリマシテ其土地ノ廣キコト又人口ノ多イコトハ中々我日本ナドノ比デハアリマセヌ併シ開關以來一定ノ朝廷ト云フモノナク始終外敵ノ爲メニ犯サレテ遂ニ英吉利ノ領地ニナリシレカラ英吉利ハ非常ニ印度ニ手ヲ入レタコレヲ一面カラ觀察スレバ印度ハ英吉利人ノ練習場トナツテ居ル、ポールドクライヅ并ニ、ワアレン、ヘステング、ナドガモト印度ニ行キマシテ色々ノコトヲヤツテ詰リ政事上ノ練習ヲヤツタ、ソレカラ印度ハ英國ノ手ニ入ツテカラ我々專

門ノ者即チ技師ナドハ英吉利本國デハ狭クツテ仕事ガナイト云フ考ヘノ人ハドンドン印度ニ出掛ケテ盛ニ工事ヲシテ居ルト云フヤウニナリ居ルコレハタゞ一面ノ觀察デアリマス、斯ウ云フ次第デアリマスカラ印度ノ土木事業、運輸、交通ノ事業ト云フモノハ非常ニ發達シテ盛ニナツテ居ル、就中鐵道事業ハ世界中デモ屈指ノ内ト云ツテ宜シイ、今日ノ所デ線路ノ長サハ二万餘哩ホドアルト云フコトデアリマス、又廣軌線モ狹軌線モアルト云フコトガアルノデ中々鐵道國トシテ研究スベキ價アリト私ハ思フノデアリマス、

然ルニ昨年私ハ印度ヘ震災豫防調査會ノ委員トシテ出張シ地震ノ「バブリック、ウオルクス」ニ對スル關係ノコトヲ調べルノガ主眼デアツテ單ニ鐵道ノ調査ヲスルコトガ出來ナカッタノハ甚タ遺憾デアリマシタ、又同國ニ私ガ居リマシタノハ僅カ一ト月餘リシカ居リマセヌ、コノ短日月ニ詳シク鐵道ノコトモ調べルコトガ出來ナカッタノデ今度ハホンニ只鐵道ノ概畧ヲ申上ゲヤウト思ヒマス、其御積リデ御聽キラ願ヒマス、

コノ鐵道ノ本題ニ入ル前ニチヨツト印度ノ地理、天候、ソレカラ人種、風俗ト云フコトノ概略ヲ申上ゲヤウト思ヒマス、

第一地理デスガ印度ハ御承知ノ通り大國デアルカラ山川ノ規模ト云フモノガ非常ニ大キイ、サウシテ三ツニ區別シテ宜カラウト私ハ思ヒマス即チ北ハ「ヒマラヤ」山脈附近デス、コノ邊ヲ山嶽地方トスル、コレガ先ツ一ツ、ソレカラ眞中コレヲ平野地方トスル、即チコノ「ゲンヂス」河「バーレー」……南ハ千尺以上ノ高原ニナツテ居ル、コレヲ高原地方、斯ウ云フ風ニ印度ノ地理ハ自然ニ山岳地、平野地ソレカラ高原ト斯ウ云フ工合ニ北カラ南ニ順列シテ居リマス、サウシ

テ一番諸般ノ事業ガ發達シテ居リ且ツ人モ多ク富ミ榮ヘテ居ルト云フハコノ眞ン中ノ平地  
「ゲンデス」ノ「バーレー」コレガ一番良イ所ニナツテ居リマス、  
私ノ巡回シタノハ全國ヲ旅行シタノデハナク「ゲンデスバーレー」カラ東方ヒマラヤ山脈、詰リ  
コノ近邊地圖ヲ指スヲ巡回シタノデアリマス、  
ソレカラ天候ノコトヲ申シマス、天候ハ北緯八度カラ三十六度マデニ涉ツテ居リマシテ隨分  
國ノ長サモ長イモノデアリマス、故ニ百度ヲ超エルト云フ熱帶ノ地モアリ、ソレカラ三十六度  
ノ邊ニ當ツテハ十七度位ナル寒地モアル、併シ其大体ヲ云ヒマスレバ矢張り熱帶ノ國ト云ハ  
ナケレバナラス、マ一年中印度ノ平均ヲ取ツテ見マスルト大抵八十度近邊ニナツテ居リマ  
ス、故ニ或ル小部分ヲ除イテハコレヲ熱帶國ト云ハナケレバナラス、サウシテ其暑サト云フモ  
ノガ年中我土用中ノ如ク一月二月ニナツテ漸ク裕ノ着物ヲ着ル位ノ有様ニナツテ居ル、  
茲ニ一ツ御承知デハアリマセウガ印度ノ特種ナル「ハ降雨ガ一定シテ居ル」デス、御承知ノ  
通り「モンsoon」ハ是ノ「ダイレクシオン」デ五六月頃ヨリ八九月頃迄ノ間ニ吹イテ居リマス、ソ  
レデ印度洋中ニ出來ル雲ナリ雨ナリヲ直チニ送クル、ソレ故五月六月カラ九月ハ雨ガ絶エナ  
イ、コノ降雨ノ量ト云フモノモ土地ニ由ツテ非常ナル違ヒハアリマスガ私が參リマシタ「アツ  
サム」ト云フ地方ハ一年五百吋ノ雨ガ降ル、ソレ程多量デアアル、又西ノ方ノ「ラジブタナ」ニ砂漠ガ  
少シアル、コノ邊ハチツトモ雨ガ降ラスト云フ差ガアリマス、マ一概シテ三十吋乃至百二十吋  
ノ雨ガ降ルト云フコトデアリマス、ソレカラ降リマスル雨ハ一定ノ期節ガアツテ即チ六月カ  
ラ九月アタリ迄ニ降ルノデス、

ソレデ印度ノ季候ト云フモノハコレヲ三ツニ區別シテ宜カラウト思ヒマス、即チ十一月カラ三月ニ至ルマデヲ冷氣ト云ヒマシテコレガ一年中一番好イ時候ニナツテ居リマス、ソレカラ四月五月十月コレヲ熱氣ト云ツテ一年中一番暑イ六月カラ九月ハ暑イコトハ暑イガ今云フ通り雨が降ルカラ氣候ガ冷シイ四月五月十月ノ如ク暑イコトハナイ、ソレデコノ三ツニ分ケテ宜カラウト思ヒマス、

ソレカラ此國ニ居リマス人間ノ御話ヲシマス、印度人ト申シマスモノハ日本人ト云フヤウニ一ノ單純ノ人種デハナイ、其人種ヲ以テスレバ十五六種ニモ分レテ居ル、宗旨ノ方カラ云ヒマスト十何種ニ分レテ居ル、其使フ言葉ヲ以テシテモ七十六種程ニ分レテ居ルサウデス、又皆一政府ニ支配サレテ居ルノデナクシテ純粹ニ英國ノ管轄ヲ受クルモノ、外ニ何百モマダ封建國ガアル、獨立、又ハ半獨立ノ君主國ガアル、尙ホ其外ニ佛蘭西ノ領分、葡萄牙ノ領分モ少々アリマス、斯ウ云フヤウニ政事上カラ云ツテモ非常ニ錯雜シテ居ル、

茲ニタゞ二ツ他ニ違ツテ居ル點ガアル、ソレハ生計ノ度ノ低イノガーツ、何處ヘ行ツテモ生計ノ度ガ低イ、モウ一ツハ徳義心ト云フモノハ何處ノ邊ニモナイ、コノ二ツノモノガ印度特種ノモノダサウデス、

ソレカラ近年ノ調ベヲ見マスト印度ノ人口ト云フモノハ二億八千七百三十万人、コレハ六年前ノ調ベデス、其内ニ、ヒンドーガ大部分ヲ占メテ居ル、ヒンドーハ一種ノ教ヲ奉ズルモノデコレガ一番多數ヲ占メ、乃チ全人口ノ七割二分バカリヲ占メテ居ル、コノ人種ト云フモノハ印度土着ノ太古カラノ人間デハナイ、歐洲人トモト其祖先ヲ同ウスル人種ノ、アフガニスタン、アラ

ビヤノ方カラ來マシタモノデ其血族ト云フモノガ全國ニ擴ガツテサウシテ印度ヲ以テ本國ト定メ其後屢々外敵ニ犯サレタリ何カシマシタガ矢張り今日デモ過半数ヲ占メテ居テ先ヅ印度人ト云ヘバコノ人間ノコトヲ云フテモ宜シイ程デアリマス併シ「ヒンドー」ト云フ人間ハ非常ニ柔弱柔順ニシテサウシテ狡猾デ信用ノ置ケナイモノデハアルガ鬪争的ノ人間デハナイノデ度々外敵ノ爲メニ惱マサレテ今日二億萬ノ人口ハアルガ皆ナ外國人ノ統御ヲ甘シジテサウシテ安ンジテ居ルト云フ人間コレガ大部分ヲ占メテ居ル其次ニアリマスノガ「マホメダン」「マホメダン」ハ五千七百万人アル即チ總人口ノ二割バカリニ當ルコノ人種ハ東北「アフガニスタン」又ハ「アラビヤ」カラ來タモノデ始終戰サヲスルコトガ好キデ剛勇ノ氣ガアルソレデ「ヒンドー」ニ比較シマスト少數デアルニ拘ラズ中々イバツテ居ルサウシテ屢々武勇ヲ振ツテ何百年前ニカ「ムガル」エンバイヤ「ヲ起シテ殆ト全國ヲ一統シタト云フノハ此人間デアルソレカラ次ハ昔カラ此國ニ生存シテ居ル土蕃デコレハ「ベンガル」「マドラス」邊リニ住ンデ居リマス、——乃チ圖中是邊ノ山ニ住ンデ居リマス之ヲ「ヒル」トライブス」ト云フコレハ純粹ノ印度ノ人種デ何ヲシテ居ルカト云フニ獵ヲシテ居ルトカ或ハ牧畜ヲヤツテ居ル生活ノ度ハ低イ内ニモ低イ開闢以來ノ風ヲ存シ居ルニ過ギナイ併シコレモ九百万人以上ノ人間ガアルコレガ第三番目……第四番目ニ人口カラ云ヒマスト非常ニ尠ナイ僅カ九万人ニ過ギナイノデスガ重モニ「ボンベ」近所ニ住ンデ居リ獨リ印度人中デ進歩開化シテ居ル人間ガアル「バーセー」ト云フコレハ中々智力金力等ニ於テ非常ニ勝レテ居ツテモトハ「ベルシャ」人デ何百年前ニカ「マホメダン」ノ爲メニ本國ヲ逐出サレ難ヲ避ケテ印度ニ來リソレカラ「ボンベ」邊ニ住ツテ居ルノ

デアリマス、コレハ中々宗教、風俗等立派デアツテ實業上政治上鋒々タル人物ヲ出シ殊ニ實業上ニ於テハ歐羅巴人ニモ負ケナイト云フ勢イデ私モ、アツサム、ベンガルカラ此邊ノ鐵道ヲ巡回中ニモ度々「バーセー」人ノ技師ニモ遇ツタコトガアリマス、色々話ヲシマシタリ俱ニ巡回ヲシタコトモアリマス、コレガ今御話シタ「バーセー」人デアリマス、(寫真ヲ示ス)

マーコレデ地理、天候、人種、風俗ノ概略ノ御話ヲシマシタ、コレカラ鐵道ノコトヲ御話シヤウト思ヒマス、

印度ノ鐵道ハ段々延長シマシテ今日ハ二万餘哩ニ達シテ居ル、コノ延長一哩ニ對スル人口ヲ算出シテ見マスルト……コレヲ日本ノト比較シテ見マスト凡ソ斯ウ云フ有様ニナツテ居リマス、

ボンベイ州八、〇〇〇    パンシヤフ州 一、〇〇〇    マドラス州 一三、〇〇〇    ベンガル州 二九、〇〇〇    日本二二、五〇〇

斯ウ云フ比較ニナツテ居リマス、

印度デハコレドレダケ鐵道ガアルカト云フ「アイデア」ガ付キマス、

印度デハ「ゲーヂ」システムト云フモノハ一定シテ居ラナイ、コレヲ三ツニ區別シマス即チ第一ガ廣軌スタンダード「ゲーヂ」、スタンダード「ゲーヂ」ハ五呎六吋、ソレカラ狹軌、メートル「ゲーヂ」、コレハ「メートル」ソレカラ「スベツシヤル」「ゲーヂ」特別軌コレガ二タ通りアリマシテ二呎六吋及二呎コノ二タ通りデアリマス、

ソレデコノ廣軌ハ全國樞要ノ土地ニ自然アリマシテサウシテ他ノモノニ較ベテ見マスト一

番長イ、即チ線路二万四百五十哩、バカリアリマス、ガ此内廣軌線ニ屬スルモノガ一万三千七百  
バカリ、ソレカラ「メーダル」軌ニ屬スルモノガ一万四百ソレカラ、「ベツシヤル」軌コレハ僅カ四  
百哩程ヨリナシ、斯ウ云フ割合ニナツテ居リマス、

又印度デハ官有線モ私有線モアリマス、又封建君主ノ持ツテ居ル線路モアル、ソレカラ國內ニ  
外國線ト云フモノモアリマス、其割合ヲチヨツト書イテ見マスト

國有線 一万七千七百哩 會社線 三千九百哩 封建君主線 二千七百哩

外國線 七十哩

斯ウ云フヤウニ分レテ居リマス、

ソレカラ全國ノ資本額ノコトヲチヨツト申シマス、ガ總資本額ハ千八百九十六年ノ調べニ據  
リマス、ト二十五億三千百万「ルービ」、「二、ルービ」ハ凡我六十七錢バカリデス、又收入ハ二億五  
千三百万「ルービ」、營業費ト云フモノハ凡收入ノ四割八分バカリニナツテ居リマス、總体デ云  
ヒマス、ト純益ノ資本ニ對スル割合五朱二分バカリニナツテ居リマス、コレガ鐵道ノコトノ大  
体デス、

コレカラ廣軌ト狹軌ト特別軌ニ就テ別々ニ御話シタイト思ヒマス、

コノ廣軌線ニ屬スル重モナル線路ト云フノハ此處ニアリマス（圖ヲ指ス）

乃チコレナンデ主幹線ト云ツテモヨロシイ、其「ゲーヂ」ハ前陳ノ如ク五呎六吋、レール「ハドンナ  
カト」云フニ六十二バウンド「カラ」八十五「バウンド」速力モ大ニシテ一時間四十五哩程、停車時間  
ヲ入レマス、ト四十哩位ニナツテ居リマス、

尙ホ御話シマスコトハ「カルブ」デス「カルブ」ハ隨分急ナモノヲ用井十五「チエン」二十「チエン」場合ニ由ツテハ十「チエン」ヲ用キテ居リマス、中々日本ノモノヨリハ急デス「グレート」ハ山中ノ線路ノ外ハ餘リ急ナモノハアリマセヌ、

又「レール」ノ製造ハ英吉利人ノ舊ヲ守ルト云フ傾キカラ今日デモ双頭「レール」ヲ用井テ居ルガ近來ハ大分平底「レール」ヲ用ユルヤウニナリマシタ、フ井ツシブレート「ハ」日本ノ現在ノニ較ベルト好イノヲ使ツテ居ル、即チ



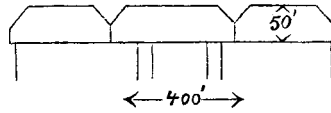
斯ウ云フ「セクシヨン」ノヤツヲ使ツテ居リマス、コレハ日本ノカラ見マストチヨツト進歩シテ居ル、尤モ日本デモ近年同様ノモノヲ用始メルヤウニナリマシタ、ガ

「バラスト」ハ大變印度デハ好イモノヲ用ユルヤウニ思ヒマス、コレハ「グラベルバラスト」ハ鈔ク重モニ「ブロークンストート」ト「ブロークンブリツク」トヲ用ユル、スリツバ「ハ」矢張り「クロススリツバ」ヲ用ユル、コレハ日本ノトハ餘リ違ハスト思ヒマス、イーストインジャン「鐵道會社」ニテハ同社技師專賣ニ係ル「メタリツクスレツバ」ヲ用居リマス、日本ノ材木モ追々ニ高クナリ木ノ「スリツバ」ハ欠乏ヲシテ參ルカラ……臺灣邊リデハ追々「メタリツクスリツバ」ヲ用井タラドウカト思ヒマス、

ソレカラ橋デス橋ハ私ノ廻ハリマシタ邊デハ乃チ「ベンカル」アツサム邊リデハ格別面白イモノハナカツタ、大抵六十尺位迄「ブレート」ガルダル「ヲ」用井、凡六十尺ヲ境トシテ其上ハ「トラス」ヲ用井テ居リマス、チヨツト橋ノコトニ就テ珍ラシク思ツタノハ、大抵鐵ノ板デ「ソリツド」フロアーニナツテ居ル、乃チ床ヲ一杯ニ張リ詰メテアル、コレハ市中ニノミ於イテサウカト思フニ野



原デモ何所デモサウナツテ居ル、ドウ云フ譯カト聞イテ見マシタラコレハ軍隊輸送ノ時コノ鐵道線路ヲ道路トシテ使フコトガアルソレデ橋ニ「フローア」ヲ拵ヘテ置クト云フコトデアリマス、又コノ近所ニハ大キナ橋ハ餘リナカツタ、デス、ダ、一ツ大キナ橋ヲ私ガ見マシタノハ「カルカツタ」カラ三十哩バカリ離レタ、「フウグリ」ト云フ所ニアツタ、四百呎「スパン」ステール、トラスノ三ツガナランデ居ル



斯ウ云フヤウニナツテコレハ凡ソ五十尺バカリアツタト思ヒマス、中々立派ナ「デサイ」ノ橋デアリマシタ、コノ「ビーヤ」ノ「ボジション」ガ斯ウ云フコトニナツテ居タ、コノ「トラス」ハ一種ノ「キヤンテレバ」ニナツテ居ツテコレニ船ガ通ルニ不都合カト云フニサウデモナイヤウダドウ云フ譯カ深ク研究スル関モアリマセヌデシタガ總シテコレハ英吉利ノ土木學會雜誌ニ出テ居ルト云フコトダカラ今日此處デハ詳シク御話ハ致シマセヌ、

又印度ノ内デハ大變ニ「フラツド、オーブニング」ガ澤山アリマス、野原ノ水ノナイ所ニモ橋ガ架ツテ居ル、矢張り水ガ時トシテ出テ來ルコトガアルソウデス、日本ノ台灣ナンカモサウ云フ場合ガアリハセヌカト私ハ考ヘマス、

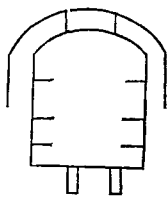
ソレカラ私ノ巡回シタ邊デハ餘リ工事ヲヤツテ居タ所ハナカツタデス、チヨツト變ツテ居ルト考ヘマシタノハ「モーター」ニ用ユル「サンド」ハ大抵「ブリツク、ダスト」ヲ使ヒマス、ソレカラ土工ヲシテ居ル所ヲ見マシタガチヨツト面白ク思ヒマシタノハ日本ノヤウニ土ヲ運ブニ畚ヲ使ハナイ、竹ノ籃デ運ンデ居ル、ソレデ其形ハ



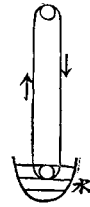
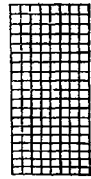
斯ウ云フ形ノ竹ノ籃、サウシテコレガ此位バカリ長サガアリマス、ソレヲ用  
 ヲテ土ヲ運ンデ居リ、人足カ皆コレヲ抱ヘテ居リマス、一見甚ダオカシナ物  
 ヲ持ツテ歩ルクヤウニ思ヒマシタ、ソレカラコノ人足ノ賃銀ヲ聞イテ見マ  
 シタラ——「ベンガル」アツサム邊デ聞イテ見マシタラ、コレハ土地ニ由ツテ大變差ガアリマス  
 ガ大抵我二十五錢乃至三十錢位ノ賃銀ダサウデス、機械場ノ職工ナンカモ二三十錢内外ダサ  
 ウデス、コレハ勿論印度土人ニ就テノ話デス、

ソレカラ次ハ廣軌ニ用ユル機關車デス、コレハ大抵英吉利ノ製造デ、タンクエンジンハ六十噸  
 位、デンダーデ九十噸位ヲ用弁テ居リマス、

ソレカラ客車、コレハ日本ノニ似テ居リマス、格別斯ウト云フ特殊ノ點ハアリマセデシタ、等  
 級ハ一等二等ソレカラ、インタルメデエート、ソレカラ三等、インタルメデエートハ二等三等ノ  
 間車ノ長サハ二十四五尺アリマシテ上中等ハ一車ニ就キ二十人乗リ位ニナツテ居リマス、大  
 体ノ「min. floor area」ハ一人ニ付三、五平方呎位デアリ又日本ノト違フ點ハ屋根ガ二重張りニナ  
 ヲテ居ツテ、コレニ日除ケガアル、



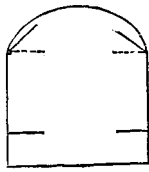
コレニ日除ケガアル、ソレデコレニ窓ガアリマシテ、サンヲ遮ギルソレカラ  
 會社ニ寄ツテデスガ、アル所デハ暑サ防ケノ「スクリーン」ヲ使ツテ居ル、コレ  
 ハ私ハ現物ハ見ナカツタノデスガ、プリンスブルハ斯ウ云フモノダサウデ  
 ス、



斯ウ云フ風ニナツテ居ツテ「バーム」ノ織緯ノ如キ細イモノデ一ツノ網ヲ拵  
 ヘマシテソレヲ窓ノ所ニグルグル廻ハルヤウニシ、サウシテ水ヲ入レル所  
 ガ下ニアツテアミガグルグル廻ハル毎ニ濕<sup>シ</sup>メル、ソレガ窓ノ所ニ懸ツテ居  
 ルト云フコトニナリマスカラ「ウエツテツド、スタレイン」ガ絶エズ窓ノ所ニ  
 往キマス故ニ室内ハ大變「クール」ニナル是ウ云フ「プリンスブル」ノモノヲ用

井テ居ル、暑イ所ニハ斯ウ云フモノハ宜カラウト思ヒマス、

ソレカラ客車ノ「ブラツトフホーム」コノ「ブラツトフホーム」ハ大變高イ、(圖中)コレニ貳ツノ「スタ  
 ツプス」ガ附イテ居ル、日本ノニ比較シマスト餘程高イ、ソレカラ車内ノ「セイト」「セイト」ハ、スラ  
 イテング「ニナツテ居ツテ」——抽斗<sup>ヒキダシ</sup>ニナツテ居ツテ夜ニナルト斯ウ云フ風ニ引出ス故廣クナ  
 ルコトガ出来マス、ソレデスカラ寢ル時ハ大變都合ガ好イ、サウシテ上下ニ「バルス」ガ附イテ居  
 リマス、



此處ニ「セイト」ガアリマス、此處ハ晝ハ斯ウナツテ居ツテ夜ハコイツヲ斯ウ  
 垂レルヤウニシテアル、コレハドノ車ニモサウナツテ居リマス、

ソレカラ一寸人ノ注目ヲ惹キマスノハドノ車ニモ鐵砲ノ置キ場ト云フモ  
 ノガ具ツテ居リマス、コレハ極簡單デ上ハ鐵砲ヲ引掛ケルヤウニナツテ居  
 ヲテ、ソレカラ下ニ受ケル所ガ附イテ居ル又ドノ車ニモ兵卒何人乗リト云  
 フコトガ書イテアリマス橋ニソリツド、フロアヲ設クルト云又コレヲノ點ヲ見レハ軍事  
 上ノ注意周到デアルト云フコトガ分ルデアリマス、

ソレカラ今度ハ貨物車デス、私ノ見受ケマシタノハ大抵十二噸積位ノ車ガ使ツテアツタ、又鐵板ノ車ガ大分アリマシタ、コレハ割合ニ輕ク、強ク又保存ノ趣意ニモ叶ヒ且ツ「アペーラブル、スベエス」ヲ増スコト、思マス、

「パツファア」ハ日本ノト格別相違ハアリマセヌ、ブレキハオトマチツクウアキアム、ブレキヲ用井テ居リマス、

ソレカラ室内ノ燈明<sup>アカリ</sup>デスガ、大分油ヲ用井テ居ル所モアリマスケレドモ、近來ハ非常ニピンツ瓦斯ヲ用ユル、コレガ非常ニ印度デ流行ツテ居リマス、聞イテ見マスニ、近來ハ歐羅巴ヤ亞米利加デモコレガ行ハレテ居ルサウデアリマス、コレハ御承知デアリマセウガ、或ル<sup>ス</sup>ベツシヤル瓦斯ヲ作りマシテ百五十<sup>リ</sup>、パウソンド程ノコンブレツストガスニシテサウシテ車ノ下ニ置クノデアリマス、サウスルトソレデ三十六時間ハ燃<sup>ユル</sup>エ、ルノデス、コノ邊ニランブガアツテサウシテ室内ヲ照ラスヤウニナツテ居ル、又コレニハハンドルガ附イテ居テサウシテ明<sup>アキ</sup>ルクモ暗クモナル、明ルイ時ニハ新聞時間表位ヲ讀ムニハ、差支ナイ、休ミマス時ニハ極暗クスルコトモ出來マス、日本デモ今油燈明デアリマスガ、夜分ナンゾハ新聞モ讀メナイト云フノデ、甚タ困リマス、段々ニサウ云フモノヲ用キタイト云ツテ鐵道作業局ナドデハ今日試驗中マダ研究中デアリマスカラ追ツテ電燈カ或ハピンズ瓦斯ノヤウナモノヲ用ユルデアリマセウ、若シコノ事ヲ御研究ニナツタ方ガアリマスナラハ御教示ヲ乞ヒタイト思ヒマス、

廣軌ノコトハソレダケニシテ置キマシテ狹軌ノコトヲチヨツト御話シマスガ、印度デ交通ノ頻繁デナイト云フ所ハ、メータータルゲ<sup>ー</sup>デヲ用井マス、コレハ殆ト日本ノゲ<sup>ー</sup>デト同ジデス、チヨ

ヲト見タ所デハ日本ノ鐵道ト變ハラヌヤウニ見エマシタ、  
 レールノ重サハ凡ソ五十磅位ノモノヲ使ツテ速力ハ凡ソ二十五哩程カルブハ非常ニ急ナ  
 ヲ用井マス、甚ダシキニ至ルト六、チエーント云フコトデアリアス、グレードハ極メハ幾ラニナ  
 ツテ居リマスカコレハ私ハ知りマセヌ、現在ハ餘リ急ナ所ハアリマセヌ殊ニ巡回シタ所デ餘  
 リ急ナモノハナカツタデス、  
 機關車ハタンクデ三十二噸位ランダーデ四十六噸位ノモノヲ用井テ居リマス、ソノ他格別狹  
 軌ニ就テハ申上ケル程ノコトハアリマセヌ、  
 次ニ廣軌ト狹軌ノ比較大要ヲ御話シマス、印度ハ御承知ノ通り廣イ國デアリマスカラ或ル地  
 方デハ、ブロードゲージ或ル地方デハメートルゲージガ好イト云フ所ガアリマシテ各地適當  
 ノゲージヲ用ユル譯デ全國通ジテドツチガ好イカト云フニソレハ一寸言ヘナイ、印度政府デ  
 ハ一度研究會ヲ設ケテ色々調査シタサウデス、其結果ニ依レバ——議定スル所デハブロード  
 ゲージガ好イサウシテ段々事情ノ許ス限りハブロードゲージヲ用ユルコトニ極メタ、極メタ  
 コトハ極メタガ一向實行サレテ居ラヌ然ルニ我々インヂニヤハコノ問題ニ就テ研究スベキ  
 デアルノニ、アノ邊デハコノ問題ニ就テ非常ニ冷淡デ、チツトモ構ハスノデンレラノ材料ヲ得  
 ルコトガ出來ナカツタデス、タバコノ二ツヲ對比シテ見マスト第一資本ニ對スル純益ノ割合  
 ハ大抵五朱二分程デタイシテ双方トモ大差ナイ、此點ニ於テハ格別優劣ヲ極メルコトハ出來  
 ナイ、ソレデ今度ハ建設費デ比較シマスガ、狹軌ハ場所ニ由ツテ違ヒマスガ先ヅ一哩七八千磅  
 位ノ建設費デス、廣軌ハ凡其ノ二割五分ヲ増シマス、

ソレカラ廣軌狹軌ノデヤンクシヨシハドウ云フ風ニナツテ居ルカラ調ベマシタガ私ガ巡回シタ所デハ多クハ川ヲ境トシテ居ルゲンデス河杯ハ非常ニ大キナ河デアリマシテサウシテ今日ノ所デハ橋ガ架ツテ居ラナイ、ソレデ河ノ一方ハ廣軌線デ河ノ向フ側カラ狹軌線ガ始マルト云フヤウニナツテ居リマス、其間ハドウシテ、コンネクトスルカト云フニステームポートヲ使ツテ居リマス、大体是ノステーム、フイレイハ大ニ行ハレテ居ル、チヨット面白イ一例ハゴアランドト云フ所ノ停車場デス、コレハ立派ナスターシヨシヲ一度作ツタサウデス、然ルニソレハ流レテ仕舞ツテ其後ハフイレイ、ポートヲ停車場トシテ使ツテ居ル、先ヅ廣軌狹軌ノ比較大要ハ先ヅソシナモノデアリマス、

コレカラスベツシヤルゲチノコトヲ御話シマセヨウコノ線路ハ極僻遠ノ地トカ山ノ中トカニ架ケテアリマスガ全線路カラ云ヒマスト非常ニ僅カナモノデ一小部分ニ過ギナイデス、併シ近來ハブロードゲチ及メートルゲチノ枝線トノドンドン作ツテ居ル、コノ線路ノ内私ノ親シク見マシタヒマラヤン、ダーヂリングダ鐵道ハヒマラヤ山ニ上ツテ行ク鐵道デス、コレハ能ク見マシタ、コレハベンガル州シリグリカラ始ツテダーヂリングニ上ツテ行ク鐵道デス、ガ其哩數ハ五十一哩、高低ノ差ハ六千四百尺アリマシテ其大部分ハ三十分ノ一デ上ツテ行キマス、蓋シダーヂリングハヒマラヤ山中七千尺バカリノ所ニアツテ世界最高ナルヒマラヤ雪嶺ガ見エル、景色ノ佳イ所デ遊覽人ガ行クノデス、コノ鐵道ハダーヂハ二尺デレールハステール、レール四十磅ノモノヲ使ツテ居ル、屈曲ハ非常ニ急デス、コレマデハ五十尺ノ半形ノカルブヲ用井タ所ガアルサウデスガ、今ハ改良シテ七十尺マデニシタ、七十尺ト云フノハ珍シイモノ

ト思ヒマス、勾配ハ三十分ノ一カラ二十三分ノ一ニナツテ居ル所モアリマス、コレヲ牽キマス  
機關車ハ英國製ノ凡ソ十噸バカリノ機關車デ或ルスベツシヤル、デザインノモノデス重サノ  
割合ニ牽引力ハ強イヤウニ思ヒマス、

速力ハ上リ勾配デ一時間十二哩下リデ九哩位コノ線路ノ内デ最モ面白イノハループ及ジエ  
グザツグノ多イコトデス……今日ノ時事新報ニループノ圖ガ出テ居リマシタ又此處ニ寫真モ  
アリマスカラ御覽下タサイ、斯ウ云フヤウニ非常ニグルグル廻ツテ居リマシテコンナ風ナカ  
ルブヲ用井テ居リマス、又コンナヤウナジイツグザツグヲ用井テ居リマス日本ニテアプトガ  
サクセスカフキリアデアルカ私ハ知リマセスガジツクザツグヤループノヤウナモノヲ用井  
テ居ル實例ハ確カニアルノデスカラ、日本ナドテモ此方法ニヨリ廉ク線路ヲ作り得ルコトガ  
大分出來ル場合ガアリハシナイカコレハ一ツ研究モノデアラウト私ハ思ツテ居リマス、コノ  
ヒマラヤ山鐵道ハ二十年前ニ開通シ最初ノ資本額ハ百四十万、ルービ―デ印度ノ國內ニテ集  
メタノデアリマス、始メツカラ内國デバカリ資本ヲ募ツタモノハメツタニナイゴノヒマラ  
ヤンダーチリング鐵道ハ一例デコノ他ニ餘リナイト云フコトデアリマス、

ソレカラ鐵道用品ノコトヲチヨツト御話シタイト思ヒマス、印度デハ機械製造業ノ振ハザル  
ト其他ノ理由ガアリマス爲メ鐵道用品ハ専ラ英吉利カラ取リマス國有鐵道計理部ニ於テ千  
八百九十六年中ニ英國ヨリ購買シ又ハ購買ノ約ヲ結ンダ、外國品ノ金額ハ凡ソ百万磅ニ上  
ツテ居ル内國印度内デ求メテ居ルモノハ僅カ五六十万、ルービ―ニ過ギナイ、私ハコレニ就テ  
一言シタイノハ前會ニ古川阪次郎君ガ支那ノ鐵道ノ御話ヲセラレ御話シ中ニ支那ニテハ鐵

道用品ヲ作ツテ居ルコレハ大變美シイ、日本デモ斯ウ云フコトハシタイト云ハレタ、ソレカラ南博士等モソノ事ニ就イテ色々御話ガアリマシタ、私モコノ事ニ就テ昨年來考ヘテ居リマシテ少々ハ研究モシマシタガ第一コノ事ヲ實行スレバ二ツノ利益ハ確カニアル、ソレハ外國ノ高イ勞力ヲ以テ作ルノト日本デチーブデ割合ニ熟練ナル勞力ヲ以テ作ルノトノ差ガアル、ガ一ツ、ソレカラ二ツニハ生材ト仕上ケ橋トハ大分運賃ガ違フコレラノ利益ガアルカラ若シ官デナリ民間デナリコノコトガ成ツタナラバ大分利益ガアル、大キク云ヘバ國益ニモナルト思フ、併シ日本デハ鐵道開ケテヨリ二十年來何故是事ガ行ハレテ居ナカツタト云フニ是ハ理由ガアラウト考ヘル、ソレハコレマデ普通ノ物ハ競争入札デ買ツテ居タガ鐵道用品ハ殆ト或ル極ツタ會社カラ取ツテ居ツタサウ云フ有様デアリマスカラ自然コレラノ計畫モ起ラナカツタノデアラウ併シ今日デハドノ會社カラデモ買フ、ツマリ廉イ會社カラ好イノヲ取レバ宜イト云フ方針デモアリマスカラ、コノ事ハ利益モアリ旁、必ラズ行ハレルデアラウト斯ウ思ツテ私ハ印度ニ參ル途中ニ考ヘマシタ、思フニ印度ト云フ國ハ殆ト日本ノ如キコンデシヨンデアル人間モ澤山居ルニ違ヒナイシ隨テ金持モ大分アル、故ニ印度ノ國ニテハコノ事ガ行ハレテ居ルダラウト私ハ考ヘマシタソレデ幾ラカ參考ニナラウ又研究シテモ宜イコトデアラウト考ヘテ參リマシタ、然ルニ行ツタ所ガ失望シタサツバリサウ云フモノハナイ、其會社ハアルトシテモ實ニ微々タルモノデアアル、コレハ甚ダ失望シタ、ソレデ色々其原因ヲ調べテ見タ所ガ私ノ考ヘデハ第一ノ原因ト云フモノハ斯ウ云フノデアアル、印度ノ鐵道ト云フモノハ印度内デ資本ヲ出シテ居ルモノハメツタニ無イ、重モナル鐵道ノ重モナル株主ハ大抵英吉利人デ



且ツ英吉利ニ住ム人多イ、其人ニハ英吉利人デ自身ノ郷國ノ製造所ニ關係シテ居ル人が多  
 イト云フコトデアリマス、ソレデウツカリ印度ニ廉イ橋ヲ作りマスト却ツテ自分ノ利益ヲ殺  
 グト云フコトガ起ツテ來ル故ニコノ計畫ハ印度全体ニハ利益ニナルコトカ知レマセヌガ印  
 度鐵道ト云フモノハ英吉利人ノ手ニナツテ居ルカラソレガ行ハレナイ、コレガ第一ノ原因ダ  
 ト思ヒマス、兎モ角モコノ事ニ就テハ一向研究スルコトガ出來ナカツタノハ甚ダ失望シマシ  
 タ、若シ此事ニ關シ御調べニナツタ方ガアルナラ教ヘテ乞ヒタイト思ヒマス

鐵道用品ハ其位ニシマシテ前ニチヨット申シマシタガ資本額ト収支ノ概算ヲ、チヨット短イ  
 表デスカラ書イテ見マセウ、

營業總覽

19,733

斯ウ云フ凡ソ比例ニナツテ居リマス、

資本額

2,531

ソレカラ運賃ノ割合ヲチヨット申シマス、客車ノ

収入

253,660,425

貨銀ト云フモノハ一等二等インタルメデエート

營業費

121,976,876

及三等トナリ居リマス、貨物ノ貨銀ハ五等ニ區分

収入ニ對シテ營業費

48.09 %

シテアル、乗客ノ貨銀ト云フモノハ極下等ニナリ

運賃

131,683,550

マスト「バイ」ハ凡我三厘五毛位デ一等ハ

運賃ノ割合

5.20

十八「バイ」程ニナル即チ一人一哩七厘位カラ六錢

位迄貨物ハ一噸九「バイ」カラ二十七「バイ」迄コレモ一哩デス、コノ表モアリマスケレドモ餘  
 リ長クナリマスカラ止メマス、

前會ニ支那ノ鐵道運賃ハ其日其日ニ變ハルト云フ御話ガアリマシタガ印度デハサウ云フコ

トハナイ、タ、田舎デハ切符ヲ買フ時ニクラアクガベンシルヲ取出シマシテ哩表ヲ調べ一々勘定シテ賣ル、コレハドウカ間違ヒハシナイカト心配スルコトガアリマス、

運賃ノ事ハ其位ノコトニシテ置キマシテ鐵道ノ職員ノコトヲチョツト申シマス、鐵道ノ職員ハ他ノ業務ノ如ク重要ノ位置ヲ占メテ居ルモノハ英吉利人デ印度人ハ概シテ極低イ位置ヲ占メテ居ル大體印度ノ組織ヲ申シマストマチーシア、チエーフ、インジニーヤガアリソレカラエキセキウテブ、インヂニーヤコチラノ所長……鐵道局ノ所長ノ様ニアルセクシヨンヲ擔當シテ居ル、其下ニアシスタント、インヂニヤ、インスベクタート云フモノモアル又メデカル、デバアトメントナルモノアリメデカル、ス、井サルガ向フノ鐵道ニハ居ル、コレラハ重モナル人々デス、コレラノ人ハ勿論驛ナドデ云ヒマスト驛長杯ハ大抵英吉利人デアアル、其下ニ屬スル雇員保線手、驛デ申ス驛ノ助役等コレラハ大抵印度人デス、機關方ナドモ二タ通リアリマシテメルトレインソレニハ英吉利人が乗ツテ居ツテ通常列車ニハ印度人ノ機關方が乗ツテ居ルト云フ譯ニナツテ居リマス、併シ印度人ノ内ニモ中々エライ奴ガ居ツテ英吉利杯ニ留學シエキセキウチブインヂニヤ位ニ出世シテ居ルモノガアルガコレハ例外デアリマス、

陸軍ナドノ事ヲ聞イテ見マシテモ印度人ハ士官ニナル資格ヲ持ツテ居ラナイ、モト身分ノアル王族トカ或ハ殿様ト云フ人デナケレバ士官ニハナラレヌ、サウ云フ風ノ次第デアリマスカラ他ノ事モ大抵推シ量ラレルデス、

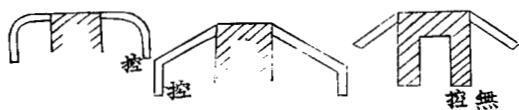
或ル日印度人ノ技手二名ガ私ヲ案内シテ或ル山路ニ這入りマシタ時其技手が歎息ヲシテ實ニ英人ノ壓制ヲ受ケテ堪エラレヌ、ドウカ日本デ使ツテハ呉レマイカト頻リニ申シテ居リマ

シタ、コレニ反シテ英吉利人ハ非常ニ意氣揚々タルモノデアアル、一体政府ナリ又會社ナリナド  
 ニテ非常ニ技師ト云フモノヲ印度デハ優遇シマス、英吉利人ハ殊ニ優遇サレル、私ノ優遇ト云  
 フノハ給料ノ多イノミデハナク詰リ使フ方デモ専門上ノ德義ヲ重ンジテ使ツテ吳レル、又使  
 ハレル方モ從ツテ専門上ノ德義ヲ重ンジテ使ハレル、ソレデアアルカラ長年デナケレバ出來ヌ  
 ト云フ事業モ存外速ク出來テ仕舞フシ、印度ノ如キ國柄ノ所デモ人々が能ク働キマス、其點ハ  
 深ク英吉利人ノ美風ヲ嘆賞スルノデアリマス、

職負ノコトハソレダケニシテ地震ノ損害ノ事ヲ一言申シマス、

昨年ノ六月十二日ニ印度ノ東北地方ニ於テ大地震ガアリマシタガ甚タ劇烈デアツテ古來其  
 比ヲ見ナイ程デアツタ土地ハ裂ケ川ハ溢レ鐵道ノ橋梁坏ハメチヤ々々々ニ毀ハレテ仕舞ツ  
 タ其被害ノ最モヒドカッタノハアツサム、ベンガル二州ニシテ被害ハ二三百哩ニ涉ツテ居リ  
 マシタ、私ハ其近所ヲ巡回シマシテ橋梁及鐵道ノ破壊シタ有様ヲ調べマシタ、併シコレハ更ラ  
 ニ震災豫防調査會ニ報告ヲ出スコトニナツテ居ルカラ今日ハ言フヘキ場合デナイト思ヒマ  
 ス……………只此處ニ寫真ガアリマスカラ御目ニ懸ケマシテ、其見タコトニ就テ注目シタコトノ二  
 三ノ點ヲチヨツト申上ゲマセウ、

アツサム、ベンガル鐵道及イスタルン、ベンガル鐵道等ニテハカスト、アイランピアラ大變使  
 ヲテ居ル其目的ハ費用ヲ廉クスルト云フノデアラウガ英吉利人ハ耐震ト云フコトニハ一向  
 考ヘテ持ツテ居ラヌ其用意ガナカッタト云フコトガ分リマス、一ツ私ガ注目シマシタコトハ  
 セメントノ品質ノ如何ニ由ツテ耐震上大差アルコトハ勿論分ツテ居リマスガ實際其狀況ヲ見



マシタ所デ非常ニ其差ノアルコトヲ見テ驚イタノデス、同ジ土地デ同ジ設計ニ掛ツテ居リマ  
 スモノデセメントノ良イ方ハ存在シテセメントノ悪ルイ方ハ瓦解跡モ留メヌト云フ結果ガ  
 現ハレテ居ル、ソレカラ巡回中ニ注目シタノハアーチデス、アーチハ耐震上危険ナモノト私ハ  
 信ジテ居ツタノデスガ、今回視察シタ所デハ案内ニモ地震ニ耐エテ居ツタ所ガ多ウカツタ、コ  
 レラハ餘程インボルタンツトノ問題デ容易ニ斯ウダト云フコトハ云ハレマセヌガ兎モ角モフ  
 アンデーシヨシヨシ宜クシテセメントノ極良イノヲ使ツタナラバ頭カラ排斥スベキモノデハ

ナイカト云フ考ヘラ起シマシタ、

ソレカラモウ一ツ私ガ視察シタコトデアリマスガ橋梁ノウキングウオールデ  
 控ヒノアルヤツト無イヤツトデアリマス、

コレガ橋脚デアツテコレニハチツトモ控ヒト云フモノガ這入ツテ居ラヌ出ツ  
 放シニナツテ居ルソレカラ又斯ウ云フ風ニナツテ曲ツテコツチニ這入ツテ居  
 ルノガアル、コレヲ私ハ控ヒト云フノデアリマス、控ヒノアル方ハ非常ニ毀ハレ  
 方ガ尠ナイ、サウシテ控ヒノナイ斯ウ云フウ井ングウオールハ大抵毀ハレテ居  
 リマス、チヨツトエレベールシヨシヨシ云ヒマス、大抵斯ウ云フ風ニ極ツタタラツ  
 クガニケ所若クハ一ケ所ニ控ヒノナイ方ニハ入ツテ居リマス、サウシテ控ヒノ  
 アル方ハ傷ミガナイノデアリマス、コノ毀ハレタ有様ハ先刻ソチラヘ上ゲマシ  
 タ寫真本ニモアル筈デアリマスカラ御覽下サイ  
 ソレカラ終リニ一言印度ビルマ間ノ鐵道調査ノコトヲ申シタイト思ヒマス、ビ

ルマハ英吉利ガ滅シテ以後英吉利デハ中々手ヲ入レマシタ、都市デモ港デモ立派ニ出來今ハ人口二十万ノ都市モアルヤウニナツテ居ル、又作ツタ鐵道ノ延長モ一千哩近ク出來テ今日印度政府ハ印度ビルマ間ノ鐵道ノコンネクシヨシノコトニ汲々トシテ居ル千八百九十四年ニコノ海岸線ト云フモノ、測量モ完結シテ仕舞ツテコノ費用一哩二十五万、ルービーカ、ルト云フ然ルニ陸軍デハコノ海岸線ヲ贊成シナイノデ第二ノ線、真ン中ニ斯ウ云フ風ニコンネクトスル方ノ調査ヲシタ、ソレト同時ニ又山ノ方ノ線路ヲ結ビ附ケルト云フ測量モシタガ終ニ山ノ方ノ線ニスルコトニナツテコレガ二百八十餘哩、サウシテ一哩十三万、ルービーデヤルコトニナリマシタ、コノ邊ハ一体ニ不毛未開ノ地デ人家モナイ所ガ多クアル、此處ノ測量ノ技師ニナツタ者ノ直話デアリマスガ測量組ハ三日四日モ道ヲ蹈ミ迷フテ出テ來ルコトガ出來ナカツタト云フコトモアツタソウデス、

印度政府デハ愈、コノ鐵道ヲ段々ニ東ノ方——支那ノ方ヘ延ハスヤウ今政府カラ人ヲ出シテ調査シテ居リマス、目下支那ノゴタゴタ話モアリ英吉利ハ支那南部ヘ線路ヲ延ハス特許ヲ得タ杯云フ話モアリマスカラ是ノ關係ノアル鐵道ノ一ヲ序ニ一言申シマス、

餘リ長クナリマスカラコノ位ニシテ置キマス、

質疑及論評

○會長井口在屋君) 唯今ノ小山君ノ演說ニ對シマシテ御質問等ガゴザイマスナウ同君ニナサイマシ

○(小田川全之君) 唯今収支結算ノ御話デ、アロッドメイトル、スベツシヤルトモ同ウナノテスカ……何レモ五分二厘ト云フノデアリマスカ或ハソレガ或ルゲニ由リマシテ其差ガゴザイマスカ、チロトソレヲ承ハリタウゴザイマス、

○答(小山友直君) ソレハ少々ハ差ガアリマス、私ハテールヲ持ツテ居リマスガ餘リ長クナルノヲ恐  
 レテ書キマセメテシタガチヨツト讀ンテ見マセウ、  
 千八百九十六年ノ調ベテアリマスガ

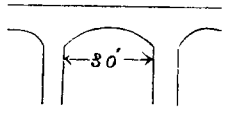
- アロード、ゲータ
- ミートル、ゲータ
- スベツシアル、ゲータ
- 五、一七
- 五、二七
- 七、七六

コノ年ニハ斯ウテアリマシタガ年ニ寄ツテアロードトミートルトハ反對ノ結果ヲ現ハシテ居ルコト  
 ガアリマス、マ一概シテコンナモノデアリマス、

○問(小田川君) ソレテ貨錢ノ方ハ、一人一哩ノ價、ソレカラ貨物ハ一噸一哩ノ價、コノ三種類ノ鐵道ガ皆  
 同シアスカ又ハ違フノアスカ

○答(小山君) ソレハ唯今御話チシタ時ニハ廣軌狹軌共ゴタマヒニシテ御話チ致シタノアス尤モ廣軌  
 狹軌共一人一哩又ハ一噸一哩ノ賃金ニハ大差ガアリマセン尙委シクハ此ノ表ニテ御承知チ乞マス

○問(小田川君) 地震ニ對シテア一チガ毀ハレナカツタト云フ御話、アレハ何アスカ  
 ○答(小山君) 私が見マシタノハ三十尺ノスパンノチ見タノテス、全体私ハア一チト云フモノハ地震ニ  
 ハマ一毀ハレルモノト云フ想像チ持クテ參イマシタ



コレガ三十尺ノスパンデアリツク、ア一チテス、離分近所ノ惡ルイ物ハ毀ハレテ居リマシ  
 タガコレハチツトモ毀レテ居ラナカツタ、コレハ特別ニ好イノカ知ラマカラマダサウ輕  
 キシク論定ハ下タサレマセメガ強チコレガ往カヌトモ云ヘナイ、唯一カラ十マテ排斥ス  
 ベキモノテナイト云フコトチ申シマシタノテス、  
 ○問(小田川君) ソレカラウールノ控ヒノアルノト控ヒノナイノトノ御話ガアリマシ  
 タガ石ノ積ミ方ハ控ヒノアルノモ控ヒノナイノモ同シ積ミ方アスカ、ソレハドウ云フ風

ノ石ノ積ミ方テス。

○答(小山君) 私ノ見マシタノハブリツクウ井ンクウオールテ控ヒガ出テ居リマスノモ控ヒノナカツ  
タノモ皆ブリツクウオールテシタ、コレハ澤山見マシタガ格別積ミヤウニハ違ハナイヤウニ見エマス  
ガ、皆控ヒノアル方ハ保ツテ控ヒノナイヤウガ毀ハレテ居リマス。

○問(吉川三次郎君) 今利益ノ御話ガブリマシタガ營業ノ方ハドウ云フ風ニナリマシタカ。

○答(小山君) ソレモ調ベテ見マシタガ此處ニ一ツ「テーパー」チ書イテ見マセウ、

b. y.

m. y.

資本額 1,911,867.704

610,516.257

収入 157,075.292

649,977.45

營業費 58,245.511

328,614.93

収入百對割合 47.17

50.56

凡ソ斯ウ云フヤウナ譯ニナツテ居リマス

○問(小田川君) ゲーザノ選フ所ノコンチクシヨシ……一方ノ鐵道ト他ノゲーザノ高クシテアル所ニ於  
テハ車チ重子テ置クトカドアアリマスカ。



○答(小山君) 私ノ巡回シマシタ所アハコンナヤウナコンチクシヨシデアブロー  
ドゲーザハブラツトアホームノ片側ヨリ始マリ狭キ方ハ他ノ側ニテ終ル斯ウ  
云フ例ガ澤山アル、詰リ乘リ換エルノテス。

○問(小田川君) ファイルヘリスハドノ位ノモノチ使ツテ居リマスカ。

○答(小山君) 判然シタコトハ申サレマセヌ大抵「ホギイ」ニナツテ居ル、「スベシヤル」テザイン「デアアリマ  
ス、

○岡(小田川君) ソレハ二十三分ノ一アアリマスカ、アレクタハドウ云フ風ニナラテ居リマス、  
 ○答(小山君) アレックハ極簡單ア格別他ト違ラテ居ラヌヤウアアリマス、又車ハ極小サイ車アス、何分  
 一ヶ月ノ旅アハアルシ地置ノ方ニ日ヲ取ラレテ仕舞ツタノア是等ノ事ハ極細カク御話スルコトガ出  
 來マセヌ

○會長(井口君) 他ニ御質問ハアリマセヌカ、  
 今日小山君ハ英吉利人が亞細亞地方ニ於テ其處ニ力ヲ入レテ事業ヲヤリマシタコトニ就テ精密ニ、即  
 チ印度ニ就テノ鐵道ヲ詳シク御話ガゴザイマシテ他ノ歐羅巴及ヒ亞米利加等ノ鐵道ノコトハ随分御  
 調ベニナツタコトハアルヤウニ考ヘマス、印度鐵道ニ就テハ多分小山君ガ近頃始メテアラウト思ヒ  
 マス、亞細亞地方アハ歐羅巴トハ餘程様子が變ハクテ居ル所ガアリマシテ其地方ノ鐵道ノ建築其他ノ  
 コトヲ御調ベニナツタコトアアリマスカラ色々日本ニ取ツテ參考ニナルコトハ甚タ多イコトト考ヘ  
 マス、今日ノハ甚タ有益ナル御演説アアリマシテ我々共ハ大ニ感謝イタシマス、チヨット一言御禮ヲ申  
 シマス、  
 ソレカラ藤岡君ガ辭任イタサレタニ就キマシテ補缺選舉ヲ行ヒマシタ結果、増田禮作君ガ高點ヲ御當  
 選ニナリマシタ、チヨット御報告イタシマス、  
 ソレアハコレア閉會イタシマス、

○論說及報告

廉價ナル原料ヲ使用スルシーメンズ、マルチン  
 製鋼法ノ一例(承前)

工學士 今泉嘉一郎君